

アメリカのコメを無制限に輸入して日本の農業をつぶす

TPP参加反対 農業者だけでなく医師も消費者も 共同で参加阻止に立ち上がる



11月8日、常滑市青海公民館でTPP参加反対シンポジウムが開かれました。

100人の参加者で会場はいっぱい。3人のパネリストの発言もおのずと熱が入り、参加者からのたくさんの質問に丁寧に答えて時間が足りなくなるほど、熱気に包まれたシンポジウムでした。以下はパネリストの発言概要です。

食糧自給率が

13%に激減

東浦町農業委員

平林良一氏の発言 【写真】

1960年代の食料自給率は80%ありましたが、現在は40%に低下しています。TPPに参加すれば自給率が13%に激減し、食糧の大部分を外国に依存する国になってしまいます。

2000年に世界のコメの国際価格が高騰して、ミニマムアクセス米の予定量が入らない事態となりました。金さえ出せば食糧はいくらでも買える時代ではなくなっています。

世界の人口が70億人を超えました。食糧生産はそれに追いつかない状況です。人口が爆発的に増えているアフリカでは内戦などの政情不安で食糧不足は深刻で多くの餓死者が出ています。TPP参加で日本がコメを大量に輸入すれば、アフリカの飢餓が一層広がり、まさに人道問題です。

野田首相は「国益」を第一に考えて判断すると言っていますが、アメリカの利益、日本の大企業の利益を第一に考えていると思えません。TPP参加反対の一点で共同してたたかい、食料と農業の安全を守りましょう。

日本の国民皆保険

制度が壊される

名古屋市の医師

板津慶幸氏の発言

TPPに参加すると、BSEや残留農薬、食品添加物の規制緩和や遺伝子組み換え食品の表示が問題になる。アメリカで行われている混合診療や病院経営に株式会社参加が日本で全面解禁される。

日本が世界に誇る国民皆保険が崩壊の危機を迎え、代わりに民間保険会社がもうけ本位の医療保険を浸透させる。利益を追求しない日本の共済制度が解体される。日本医師会がJAなどとともにTPP反対に立ち上がった。

貿易で韓国に負けるといふのはウソ

県商工団体連合会長

太田義郎氏の発言

井村町長時代、人口要件が5万人を超えたら市制を敷く方向で市制準備室を平成20年4月1日に立ち上げました。職員研修として国から職員を派遣してもらい、市制のノウハウを身につける「内部体制」を固めるものでした。

市制施行に伴う新市名および町名変更のために市制施行名称等検討委員会を設置し、その答申を受け、すでに地元説明会を済ませてい

市制先にありきの の拙速が破たん

ます。今年6月町議会に市制を敷くための議案提出をするばかりになっていました。

ところが、昨年の国勢調査の速報値は5万80人でしたが、総務省の再調査が行われ、10月の確定値まで延期するとして突然議案を取り下げました。結局、確定人口は4万9800人余となり、市制施行は断

財界などがTPPに参加しないと韓国に負けるといふがそれはウソ。アメリカへの輸出は関税が障害ではなく、円高・ウォン安である。米韓FTA(自由貿易協定)で韓国の農業は大変な打撃を受けようとしている。今こそ輸出依存の経済から内需中心に転換することが求められている。

政府はアメリカ追従ではなくアジア中心の経済外交を進めるべきだ。

念することになりました。この間の予算執行額は48万9000円余といわれていますが、職員などの人件費は含まれていません。第5次東浦町総合計画は市制を敷くことを前提としており、見直しが必要ではないかとの問いには、「この先4年後を見据えて、市になる準備をしっかりと考えていた

なく(町幹部)

と今このことに

限らず、知多

北部3市1町

の合併協議の時も合併を前提としてどんどん準備を進めて、そのあげく破綻しています。日本共産党は、住民説明会やアンケート調査が不十分なまま市にするメリットがはっきりしない中、「市制先にありき」の拙速な町政を批判してきました。

広瀬勇吉

生活相談

子どもの扶養控除が廃止されています

12月になるとサラリーマン家庭では年末調整、年が明けると2月には確定申告が始まります。申告によって税金が決まると同時に国保税や介護保険料、利用料、公営住宅の家賃まで影響します。納得のいくように準備をしましょう。

昨年から大きく変わった点として、18歳未満の扶養控除が廃止、もしくは減額されています。子ども手当の財源という理由です。

また年金所得の申告が簡素化されました。申告をしなくてもいい場合があります。還付を受ける時は住民税の申告が必要です。

日本共産党東浦町委員会
福祉対策部長 田井中浩之

日本共産党
知多地区委員会
ホームページ
生活相談
を受け付けています

<http://www.jcp-chita.jp/>